介助犬・聴導犬の使用の流れ

※基本的な流れの例になります。
相談しながら内容・時期を決めていきます。

相談事業

相談

1. 電話相談
2. 面接相談
   - ○介助犬・聴導犬の使用におけるニーズ、必要性の確認
   - ○基本的な制度や役割の説明
   - ○使用者となるまでのプロセスについて情報提供
   - ○健康状態や生活管理能力、社会参加状況、住環境の確認
   - ○飼育能力について確認
   - ○福祉用具の活用や他の社会 資源との関係を整理　　等

関連のある職種：SW

適正評価

1. 診断・評価
   - ○医師やリハスタッフによる障害状況、禁忌事項等の確認
2. 意見書の作成
   - ○介助犬・聴導犬の使用における適性、適応に関する意見書の作成

関連のある職種：医師、PT、OT、ST、（RE）

訓練事業

候補犬選定や訓練内容への支援

1. 訓練計画の作成支援
2. 候補犬の選定
3. 訓練の実施
   - ○基礎訓練
   - ○介助/聴導動作
   - ○合同訓練

※訓練事業者と連携

関連のある職種：獣医師、PT、OT、ST、SW、（RE）、（訓練事業者と連携）、訓練事業者、事業者Tr

中間・総合評価

- ○訓練状況の確認
- ○認定審査へ進めるかの可否判断

関連のある職種：PT、OT、ST、SW、（RE）

認定事業

認定審査

1. 認定審査申請書類受理
2. 適切な訓練経過確認
   - ○基礎訓練
   - ○介助/聴導動作
   - ○合同訓練

関連のある職種：PT、OT、ST、SW、（RE）、Tr

認定審査委員会

- ○書類審査
- ○基本動作の検証
- ○介助・聴導動作の検証

→認定の適否

関連のある職種：医師、獣医師、PT、OT、ST、SW、Tr、外部専門家

フォローアップ

認定後のフォローアップ

- ○補助犬使用者、訓練事業者からの状況確認
- ○必要に応じて再検証

関連のある職種：SW、（訓練事業者と連携）、訓練事業者、事業者Tr

＜お問合せ先＞　名古屋市総合リハビリテーションセンター
福祉環境まちづくり支援課　電話：052-835-4569

※略語について

SW	ソーシャルワーカー
ST	言語聴覚士
PT	理学療法士
RE	リハビリテーション工学技師
OT	作業療法士
Tr	介助犬・聴導犬訓練士